

## 「熊谷市公共工事コスト構造の改善」実施要領

### 1 目的

本実施要領は、熊谷市の発注する公共工事のコスト構造の改善を図るため、計画・設計・工事・維持管理のそれぞれの段階で取組むべき事項について、その基本的な考え方や実施方法を定めたものである。

### 2 実施方法

「熊谷市公共工事コスト構造の改善における具体的施策」（別紙1参照）に示す各施策に基づき、公共工事のコスト構造の改善に取り組む。また、工事完了後に、コスト構造の改善の取組状況及び改善状況について検証及びフォローアップを行う。

### 3 改善状況の検証

コスト構造の改善への取組状況及び改善状況について、次の二通りの方法により検証を行う。なお、検証にあたっては、各工事主管課で当該年度に発注した工事のうち、代表的な工事内容の工事の中から、設計金額が1,000万円以上であって最も高額なものを抽出し検証を行う。

#### ① 分野項目別施策の検証

コスト構造の改善への取組状況を量的に検証するため、「取組状況報告書」により、一工事あたり取組んだ施策数、分野数及び項目数を算出する。

#### ② 改善率及び改善額の検証

コスト構造の改善状況を数値的に検証するため、「具体的事例報告書」により具体的事例に基づきコスト改善率・改善金額を算出する。

### 4 コスト改善の目標

#### ① 分野項目別施策の検証

全ての分野で実施し、工事一件あたり15施策以上の実施を目標とする。

#### ② 改善率及び改善額の検証

一工事あたり8%以上のコスト改善率を目標とする。

### 5 フォローアップ

各工事主管課は対象となる工事について、「取組状況報告書」（様式1）及び「具体的事例報告書」（様式2）を作成し、工事が完了した後、対象年度の翌年度の4月末までに契約室へ提出する。また、契約室は、工事主管課より提出された、「取組状況報告書」及び「具体的事例報告書」の取りまとめを行い、熊谷市公共工事コスト構造の改善の実施状況のフォローアップを行う。

## 熊谷市公共工事コスト構造の改善における具体的施策の一覧

## I 事業のスピードアップ

## 【1】合意形成・協議手続きの改善

施策 1. 構想段階からの合意形成手続きの積極的導入・推進

施策 2. 関係機関との調整による協議手続きの迅速化・簡素化

## 【2】事業の重点化・集中化

施策 3. 事業評価の厳格な実施による透明性の向上

施策 4. 重点的な投資や事業の進捗管理の徹底による事業効果の早期発現

## 【3】用地・補償の円滑化

施策 5. あらかじめ明示された完成時期を目標とした計画的な用地取得を実現

施策 6. 用地取得業務の効率化のための民間活力の活用

## II 計画・設計・施工の最適化

## 【1】計画・設計の見直し

施策 7. 技術基準類の見直し

施策 8. 技術基準の弾力的運用

施策 9. 設計 VE による計画・設計の見直し

## 【2】施工の見直し

施策 10. 工事における事業間連携等の推進

施策 11. 建設副産物対策等の推進

## 【3】民間技術の積極的な活用

施策 12. 公共工事等における新技術活用システム（NETIS）を通じた民間技術の積極的活用

## 【4】社会的コストの低減

施策 13. 工事に伴う CO2 排出の抑制による地球温暖化対策の一層の推進

施策 14. 社会的影響の低減（騒音・振動等の抑制、大気環境に与える負荷の低減、工事による渋滞損失の低減、事故の防止）

## III 維持管理の最適化

## 【1】民間技術の積極的な活用

施策 15. 施設の長寿命化を図るための技術基準類の策定

施策 16. 公共施設の点検結果等にかかるデータベースの整備

施策 17. 公共施設の長寿命化に関する計画策定の推進

施策 18. 地域の実情や施設特性に応じた維持管理の推進

## IV 調達最適化

## 【1】電子調達の推進

施策 19. CALS/EC の活用による入札・契約の推進

施策 20. 電子情報の共有化による建設工事の生産性の向上

**【2】入札・契約の見直し**

施策2.1. 総合評価方式の充実

施策2.2. 多様な発注方式の活用

施策2.3. 民間の技術力・ノウハウを活用した調達方式の推進

施策2.4. 工事の円滑な執行のための手続き改善

施策2.5. 受発注者のパートナーシップの構築による建設システムの生産性向上

施策2.6. 公共工事等の品質確保の推進

**【3】積算の見直し**

施策2.7. 施工パッケージ型積算方式や積算システムの適用拡大

施策2.8. 市場を的確に反映した積算方式の整備